

令和4年度第2回学校教育審議会 議事録

令和5年1月5日15:00～
市役所北庁舎 A会議室

〔出席委員〕 山下千之 藤本直子 西坂千代子 吉田知子 笠見猛 稲嶋敏彦 岩本善文
河野有兵 行田佳子 竹部晃 坂田紘理 和田一進 門脇正吾 知久馬和紀

(敬称略)

1 開会	
事務局 教育長 会長 各委員	開会・資料確認 挨拶 挨拶・自己紹介 自己紹介
事務局	自己紹介 審議会趣旨説明
会長	日程および内容の確認
2 報告・説明	
事務局	校名再考の経緯説明 (資料) ・校名再考の経緯 ・第15回統合準備委員会での協議内容(議事録概要版) 新小学校名再考に関する嘆願書について
3 協議	
会長	事務局より校名再考の経緯について説明いただきました。あと、資料を読んでいただくということで(15時)35分ぐらいまでじっくり読んでいただいて。嘆願書についても添付されております。こういう内容で出ているということで読んでいただき、また皆様のお気持ちなりご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いたします。
各委員	資料確認
会長	読んでいただけましたでしょうか。思いなり、ご意見等ございましたら、みなさんからお伺いしたいと思います。ご意見がいただけましたら。思いでも感想でもよろしいですが。
委員	成徳小学校、灘手小学校の統合に関わる、先ほどの説明に対して、意義を申し立てるような、そういうことではありません。これから、少なくとも4月以降、小鴨と上小鴨、北谷と高城の統合準備会が公式的に発足をして協議が始まります。もっといえば、正月明けからすぐに、その手前である検討委員会が行われることも承知しています。要はこの統合準備委員会についてお尋ねします。ペーパーを見てようやく分かったのですが、実は、今回のようなトラブルを起こしたくないという、起こしてはならないという立場で発言するのですけれど、北谷、高城の統合をめぐる、北谷地区では、10月末から11月末まで1か月をかけて、全ての集落のみなさんを対象にして、それぞれの集落で説明会をしました。そして、合意を取り付けました。その時、みなさんの方から出されたのは、会議でも会議の後でもそうだったのですけれども、今言われているような学校名、新しい学校名。もうトラブルを起こさないでくださいねということが住民の皆さんからの声として出されました。私もそう思っていますけども。問題は、統合準備委員会なるものが、ある時に報道として、私的諮問機関という表現がされました。その報道を聞いて、びっくりしまして、そういう位置づけになったのだということを知ったのです。私的諮問機関でもいいのですよ。今日、設置要綱なるものを書面でいただきましたので、これはそれでいいのですけれども、問題なのは、この設置要綱が、成徳と灘手の統合議論の中で、位置づけられて議論されて

	<p>きたわけですけど、例えば、今回問題になったような150票集まってもある意味ならば1票扱い、会長が2度投票できるというようなことが、混乱のもとであったと思います。さっき公募されて、こういう結果だと言われましたね。それだったら、公募の条件をむしろもっと制約を設けて、例えば、北谷と高城でいうならば、北谷でぬのこ谷という名称があるのです。ぬのこ谷という名称は使わずに、他の名称にしてくださいねというような注文をつけて、公募しようかなと思っています。あくまでも、高城と北谷の地域で、あくまでも対等合併だと考えています。その方向で行こうと思うのです。さて、設置要綱ですけれども、これは、あくまでも基本的な概念であって、それぞれの統合の協議の中で、ある意味で幅があるのか。さっき問題になっているような、150も1票というようなことについても、その統合準備委員会ごとに、議論をして、そういうルールでいきましょうということによって運営できるものなのかと、そこを教えていただきたいと思っています。あくまでも、小鴨、上小鴨にしても、北谷、高城にしても、もう時間がないわけです。来年の4月1日にオープンしようと思ったら、かなりの猛スピードでやらないといけないわけで。こういうことで時間を割くことが申し訳ないと思っていて、上小鴨、小鴨もそうだと思いますけれども、新しい学校をつくって、そのもとで、子どもたちによりよい教育環境をつくっていくのが私どもの使命だと思っています。その意味でいうなら、さっき言いましたようなことが、統合準備委員会ごとに、ルールとして、全体の参加者のみなさんで、承認されればそれでよいのか。そこはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ご心配をおかけし申し訳ありません。おっしゃるとおり、統合準備委員会の設置要綱でございますが、検討委員会の方でも話し合いますし、検討委員会で話し合ったことをもとに、統合準備委員会でも話し合いました、その、例えば、北谷、高城でありましたら、北谷、高城さんの設置要綱ということで、みなさんの同意を得て、設置するというようにしております。</p>
委員	<p>改めて再確認しますけれども、今回のようなことを極力なくしていくために、改めてルールは話し合って合意すればよいのですか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他の方はいかがでしょうか。ございませんか。</p>
委員	<p>外から見ていて、この件に対して、みんながもやもやしているのは、打吹という名前と至誠という名前が出て、打吹はみんなが何も言われなくても、背景なりが分かりやすい。至誠については、かたや、なんだろうそれはというような部分もあり、それも150対1というようなこともあり、何かあったのではないかという風評も含めて、もやもやしているのだらうと思います。今日見させていただいて、全部見ているわけではないので、はっきり分からないのですけれども、地域の考え、成徳の考え、灘手の考え、地域の思い、成徳の思い、灘手の思いというのを考えて、成徳は至誠を出された、灘手は打吹を出された、というようなところを、今この設置要綱を見させてもらいましたが、開示したり、何が議論されたりしたのかというのをオープンにすることはできないのでしょうか。決定したことを今さら覆すつもりはないのですが、もやもや感があるとすれば、それを薄める努力は当然すべきで、事務局サイドでもされるべきなのではないかなということの一つはあるのではないかと思います。もし、そういうことができるのであれば、そういうことをされた上で、こうでしたということを説明し、今決めようとしていることを胸はっていきましょうというやり方をされるのもありなんじゃないかなという風に思います。それは、先ほど言われた、次へも進む、ステップだと思います。それと、もう一つすみません。基本的な、この審議会で審議したことはどういう風に展開していくことになるのか、その流れを教えてくださいませ</p>

	んか。決して、今校名が新しくできようとすることに反対の立場ではありません。
会長	ありがとうございます。統合準備委員会に出てこられた事務局の方と、この審議会にかけた結果としてどうなっていくのかということですね。説明をお願いします。
事務局	まず1点目の質問についてでございます。統合準備委員会で話し合ったことにつきましては、統合準備委員会だよりというものを発行させてもらい、こちらは統合される成徳、灘手には全戸配布という形を取らせてもらっていますし、市内には、班回覧ということで、統合準備委員会が行われる度に配布させていただいております。それから、今回、打吹、至誠ということで、いろいろ問題が出てきて、いろいろと知られることとなりまして、そこからは、しっかり説明をしなければならないということを議会からもご指摘をいただきまして、地区による説明会、特に統合に関わる地区について、こちらの方から出向きまして、地区説明会、あるいは保護者説明会という形で、説明をしております。それから、この校名に関するところが、いろいろ取りだたされるようになりましてから、公に公開という形を取らせてもらい、みなさんにどういう経緯で校名が決まっていくかというのを見ていただくというふうにしているところでございます。それから、今後のことでございます。学校教育審議会をうけてからの流れでございますが、本日、打吹至誠小学校という校名が統合準備委員会の方で案として出されましたので、それについて、みなさんにいろいろとご意見をいただき、それを答申としまして、今後、教育委員会の方にもって出ます。教育委員会の方としては、皆様からいただいた意見をもとに、また協議をいたしまして、教育委員会としての校名案を、今度は議会の方に提出すると。そして、議会の方で可決されれば、この学校名になるという流れになっております。
委員	統合準備委員会の議事録なるものはあるのでしょうか。それを公開、原則によると公開というものも考えられているのでしょうか。
事務局	議事録については作成してございます。こちらは、開示請求がございましたら、開示するようにしております。
委員	分かりました。
会長	読んでいただきました中にも、保護者さんのお気持ちとか、子どもたちの様子等も書いてありまして、おそらくこの先の流れとしては、就学通知等が今月末には出されないといけないという状況になっていますので、これから、今日審議会が終わりました後、教育委員会なり、議会なりのところで、どんどん、着々と粛々と進められていくのではないかと考えております。みなさんいかがですか。よろしいですか。何かご質問、ご意見ございませんか。そうしますと、諮問いただきました倉吉市立成徳小学校と灘手小学校の学校統合について、みなさんのご承認をいただきたいと思います。挙手をお願いします。意見をもう少し聞くということで。みなさんお一人お一人マイクをまわしましょうか。させていただきますともよろしいですか。順次お願いします。
委員	新聞報道等でしかあまり知らなかったもので、よく分かっていなかった部分があったのですが、議事録を読ませていただいて、それぞれの校区の思いを踏まえた上でのお名前だということが分かりました。提案いただいた新校名でいいのではないかと思います。
委員	子どもさんのある家でしたら、いろいろと関わってこれているのでしょうかけれども、一般的な地域の方々等に、いろいろ文章等でお知らせしてはありますけれども、そこまでみなさん今まで関心をもってきてはなかった所に、こうして報道で頻繁に出るようになってから、こういうふうには大人たちの喧嘩といっておかしいのですが、ごたごたなところを子どもたちに見せてしまったとい

	う所が、ちょっと新しい学校をつくる時点で残念だったなというふうに思いながら見ているのですけれど、今後、校名としては、地域の思いと理念ということで、いい校名になったのではないかと私は思っています。ただ、今後いろいろと合併に関わることで審議していかなければならないことが出てくる時に、こういうふうな形にならないように、これからよい教訓になるように、今後考えながら物事を進めていくという、教訓ということで、みんなの心に留めておいていただければいいのではないかと思います。ありがとうございました。
委員	素直に言うと、新聞で新しい名前を協議されたと、あれっと思ってしまったのですけれど。でも、まずは、4月に無事開校するというのを考えると、統合委員会の方も歩み寄られたので、まわりの大人たちも心を寄せるということが、一番大事かなと思っていますので、どんな校名でも、決まったらみんなが協力して頑張ろうと、いい学校をつくらうねというふうになるのが一番いいと思います。
委員	新しい校名については、いいと思います。ただ、さっき言ったことが、次の段階でしっかりとできるように、教育委員会の方もお願いしたいと思います。
委員	この会に関わらせていただいていますので、この経緯ですとか、いろいろなことが理解できているので、もめたところはありませんでしたが、ぎりぎりいっぱいではございますけれど、まとまってきて良かったなというふうには思っています。ただ、5,000人近い方の署名もあるということですし、新聞報道でもありましたように、打吹至誠小学校に決まりますというような報道がなされた時に、私のところに入ってくる地域、みなさんの声からすると、「無理矢理くっつけちゃったね」のような意見を多く聞きます。そういったことを考えると、これから市民のみなさんには十分な理解を求められるような説明が必要なのかなと思いますし、先ほどありましたように、設置要綱については、それぞれの地区の方で、また、検討しながら変更していくことは可能だということが確認されましたので、これからの準備の方は、とにかく今回のことをいい教訓として、スムーズにいくようになればいいのかなと思いました。ありがとうございました。
委員	これから小学校に通わせる中年の意見としましては、正直どうでも（どの校名に決まっても）いいなというふうに思っております。というのも、やはり通う子どもたちのことを考えるというのが一番であって、この名前でもめているよりも、それも成徳と灘手の一部の僕たちより上の年代の人の思いしか、正直感じません。なので、落とすどころとしては、打吹至誠しかないのだろうなというふうに思いますし、仮に至誠になっても打吹になっても、やってやったとか、ひっくり返したとか、そんな話にしかならないのではないかと思います。そんなことをするのであれば、子どもたちのことを考えて、これから先、至誠という理念にもとづく子どもたちを、いかにして、教育を子どもたちに提供してあげられるかということだとか、打吹という名前にふさわしい、地域を愛する子どもたちに、そういう思いをもたせてあげられるかということの方に、考えを膨らませていった方がいいのだろうなというふうに思いますし、先ほどおっしゃられたように、今後とも統廃合というのは続くと思いますので、やり方というところをもう一度考えるべきなのではないかというふうに思います。一部の地域の大人たちだけを相手にすると、どこまでいっても大人の話であるし、子どもたちは一切出てこない。本当に子どもたちのことを思うのであれば、外部の方を入れたり、今後の子どもたちの教育のために、例えば、統廃合する学校の子どもたちで選挙を行って、子どもたちの中からも、候補を出すとか、大人たちだけの一部の中で決めないやり方という仕組みをつくっていくというのが、今後は大事なのではないかと思いますので、打吹至誠に落ち着けばいいなと思います。
委員	名前に関しては、そんなにコメントがないのですけれど、保護者の立場からすると、大人目線ではなく、子どもがこの先どうなるかということを考えると、そこ

	まで名前にこだわる時間はなかったかなと思います。新聞を見ながら読みながら感じていました。
委員	議事録など拝見させていただいて、こういうふうになったんだなというふうにな納得しました。これからは、地域の方、一体になってサポートする体制ができたらいいなと思います。ありがとうございました。
委員	打吹という倉吉を代表するシンボルが、名前が入っていること、また、至誠という理念が込められているということで、名前に関しては問題ないと思っております。私も、統合準備委員会のメンバーの方から話を伺う機会もありましたけども、やはり、大人の上の方の意見が非常に強かったんだなという印象を今まで受けていました。今後も統廃合は進む時代になってくると思いますので、こういったことがないように、ルールづくりのほう、検討していただければと考えております。
委員	新年度まで3か月を切っております。令和5年度の新しいスタートに、子どもたちが笑顔で、保護者の方、地域の方が、本当に祝福していただける、倉吉市民の方、全国の方も祝福してくれるような状況になることを心から願っております。様々な協議をたくさんされてきておられます。民主的な経緯を経て、決定した校名を尊重していきたいと思えますし、本当に第一に考えなければならないことは、子どもたち、新しい学校で子どもたちが、新しい学校の歴史をつくっていく、そのスタートに、やはりみんなから祝福され、子どもたちが笑顔で歩んでいけるように、支えていかなければならないと考えております。
委員	ここにたどり着くまでに、相当なエネルギーが費やされているのだろうなということ、想像を超えるぐらいの、教育委員会の皆様や関係者の皆様の力があつたんだろうなと、感謝申し上げますし、最終的には、やはり民主主義のルールというものがかされたのだと思っております。いろいろな問題が生じるのは当然のことですし、その課題に対して、どういう手続きでもって進めることによって民主的なものが生まれるのかということを考えれば。確かに、いろいろな問題点はあつたと思うのですけれども、いろいろなことを生徒に学ばせる機会にもなったかなというふうには私は思っています。子どもたちには申し訳ないですけども、我々の材料としては、こうやって社会を変えていくんだよと、いろいろなことを変えていけるんだよということが分かるチャンスになったのかなと思います。数だけではない、世の中は数だけで切り捨ててはいけない、少数者の意見も大事なものだということ、今回のことを審議の過程の中で、そういうふう感じております。名前についてどうというのは、どうのこうの言いませんし、少数者を切り捨てない社会になっていかないといけないということを強く思います。そういった意味でも、今までのご苦勞を感謝申し上げたいと思います。
委員	校名については、準備委員会の方で、慎重審議されて、この名前になったわけですので、今度は通う子どもたちや、子どもを預ける保護者の方々に、この学校で良かったなと、いろいろなことに向けての準備にしっかり時間をつくっていただけたらいいのかなというふうに思います。校名決定の後に、こういったことがあって、かなり混乱をきたした所があると思います。事前にこういう過程をもって決めますよということを、公表してあつたのではないかと思いますけども、事前にこの形で決めていきますという手順についてを、しっかりその手順に沿って話し合いを進めたんですよということが、きちんとみなさんに伝わるような形で、今後の学校統合についての動きをとっていただくということが大事なのかなということを、今回の件をもって感じたところでございます。
会長	みなさんありがとうございます。私自身も先ほど、もやもやしたと言われたことが、私も同じ思いをもちました。SDGsもマイノリティの人権も含めていろいろなことを日々考えておりますが、子どもの人権というところで考えたところで、子

	<p>どもたちの思いが、表現できて、親しみやすい、懐かしい学校って後々思えるような学校の名前だったらというのが一番の思いでした。みなさん、それぞれ地域の思いがあるので、校名については統合準備委員会で決められたということで、このことは尊重して、これでいいと思います。やはり、みなさん、子どもたちの思いが地域、日々の生活の中で聞けていますかということ。もういっぺん振り返って、ご家庭なり地域なりで考えてみていただけたらと思います。意外と、子どもの思いって聞けてないのではないのでしょうかというところを私はすごく思います。子どもたちも、聞いてもらえる大人たちがいないから言わないみたいなことになってませんかということ。そこは、今、大人の方全て、お一人お一人が自分はどうなのかなと問うてみていただきたいなと思います。これから学校は変わらないといけません。今までの従来の学校では、世界の潮流の中でも、従来の日本の教育ではいけないというところまでできています。統合に関わって、10年という年月を、いろいろな話し合いをしてまいりました。ですけども、なかなか明治以降の、産業革命以降の一斉指導から抜け切れていません。一人一人の個が尊重される、それが排除されない社会をつかっていかないといけなとすれば、多様性が認められ、インクルーシブ、誰一人取り残さない、教育格差の広がっていく中で、いかに日々、貧困や学習ができない環境にいる子どもたちをどうやって教育をして、次の社会を担っていく人になってもらうかというところを、学校だけではなくて地域も含めて考えていかないといけな所に今立っています。ぜひ、大人のみなさん、考え方を变えて、意識を変えて、これからの子どもたちが、災害もありますよね、戦争も起こり始めました、こんな大変な世の中を生き抜いていく力を身につけた人を育てていくという視点に立って、ぜひいろいろなことを考えながら、学校統合をしていただきたいですし、学校運営にみなさんそれぞれがご関わりを願いたいと思います。というのが私の思いでございます。</p> <p>みなさんからご意見もいただき、感想もいただきました。それでは、倉吉市立成徳小学校と灘手小学校の学校統合について、ご承認いただけますでしょうか。よろしいですか。では挙手をお願いします。</p>
各委員	挙手
会長	みなさん全員一致ということでございますので、ありがとうございます。
事務局	今いただいた意見をもとに、答申案を作成し、でき次第お配りしたいと思います。しばらくお待ちください。
委員	嘆願書については、どのように返されるのでしょうか。
事務局	嘆願書のことでございますが、こちらについては、学校教育審議会だけではなく、市長、教育委員会の方にも出されております。こちらについては、これまで議会等でも説明をしていただいております。こちらの会の方にご説明していただいておりますので、これまで伺ったご意見を含めて、より詳細に事務局の方で説明して、委員会の方に会議の出席を求めないことといたしますということで、回答はしているところでございます。
会長	学校教育審議会としては、学校統合準備委員会の方で、決定されましたことを尊重してということで、対話の機会をとというところでございますが、それは設定する必要はないと、私自身は思っておりますが、みなさんはいかがででしょうか。
事務局	こちらの学校教育審議会運営規則の方に、会長が必要と認める時、意見を聴くことができるということが書いてございますが、今回事務局の方が最初に経緯を説明させていただいておりますので、特に説明を求めていないということでございます。
会長	よろしいでしょうか。(異議なし) それでは、答申についてです。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申案の読み上げ ・ 表記に誤りがあり、修正後再配布。 <p>よろしいでしょうか。</p> <p>このことについてご質問等がございますか。</p> <p>このとおり、答申をさせていただきます。慎重審議ありがとうございました。</p> <p>では、事務局より連絡があるとのことでしたのでお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務連絡（第3回について）
会長	<p>第3回では、今後の倉吉市の教育について、たくさん意見を出していただけると嬉しいなと思います。よろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>（挨拶）</p> <p>御礼です。本当にありがとうございました。1時間ちょっとの会でしたが、保護者からの本音もいただけたと思っています。多くの委員さんからは、統合準備委員会の皆さんの意見を尊重すると、そういう趣旨の発言をたくさんいただきました。さらには、小鴨、上小鴨、高城、北谷もそうですけど、そちらの統合の準備のあり方についてもご指摘をいただき、ルール作りをきちんとというご指摘もいただきました。本当に、本音のところでご意見をいただけたことを嬉しく思っています。みなさんの意見を聞く中で、やはり大切だなと思ったのは、新しい学校をどうつくっていくかという、ここを一生懸命考えないと、学校の役割といいですか、学校は子どもたちに力をつける所ですから。新しくスタートする学校が、きちんとそれぞれの子どもたちに、必要な力をつけれるように、そういう学校にしていけるように、教育委員会としても頑張りたいと思います。その際は、また委員の皆さんにお力添えいただくことになると思いますので、本当に今日はありがとうございました。お世話になりました。</p>
会長	<p>本日は、お忙しい中、急遽お集まりいただきありがとうございました。それでは、学校教育審議会を閉会といたします。ありがとうございました。</p>
閉会	